



こんにちは

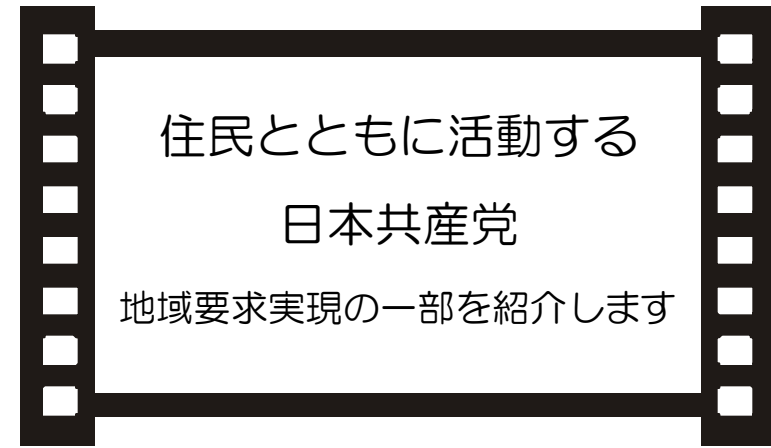
日本共産党

2010. 11. 24 No.4

富田たく

です

事務所 高円寺南3-30-12 電話 3314-5551 FAX 3318-1492
メール info@tomitaku.jp ホームページ http://www.tomitaku.jp

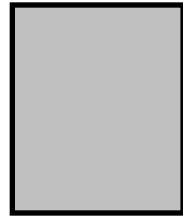


住民とともに活動する
日本共産党

地域要求実現の一部を紹介します

和田地域の住民要求が実現

青梅街道



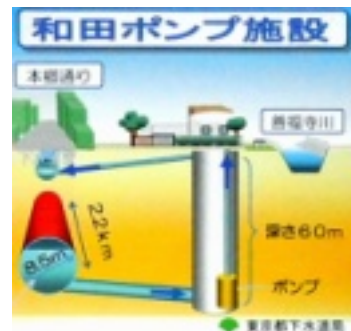
蚕糸の森公園



蚕糸試験場の筑波移転後、跡地が公団住宅として計画された際、日本共産党は議会で防災機能を備えた公園としての方向を示し、区・住民あがての運動で公園が実現することとなりました。

水害対策

日本共産党は水害対策を取り組み続け、環七地下等に貯水トンネルの設置を求めてきました。現在、環七と本郷通り地下にトンネルが完成。一定の大雨に耐えられるようになりました。



東高円寺駅

東高円寺駅の新宿方面口にエレベーター設置をもとめる署名を行い、届けるなど14回メトロと交渉し、再来年中に実現することになりました。



都営住宅跡地

和田一丁目の都営本町住宅が取り壊された際、跡地に特別養護老人ホームの建設を求める住民運動が巻き起こりました。日本共産党は、この運動と要求を区議会でとりあげ、区を動かし、実現の方向となりました。



防衛施設庁空き地

和田一丁目の防衛施設庁の空き地を「公園」とし、区への交渉や区議会でも取り上げるなど、要求し続ける中で、区が用地を買収。来年度設計、実現の運びとなりました。



中野富士見町駅

地下鉄・東京メトロと交渉を続け、中野富士見町駅で、エレベーターの設置や男女別々のトイレなどが実現しました。



本郷通り

環七道路

富田たぐの区議会 傍聴記

11月22日、区議会本会議を傍聴しました。

この日は、日本共産党区議団の鈴木区議、小倉区議、原口区議が一般質問を行いました。

鈴木区議の「小中一貫教育」についての質問趣旨をレポートにまとめてみました。

質問趣旨

はじめに、区議は、高円寺地域の新たな学校づくりに関する意見交換会などで出された参加者からの意見を紹介。「小中一貫教育が子どもにとって良いのか悪いのかわからない」との疑問や「今くらの規模は保護者も子どもも矛盾は無いし、矛盾を感じていない」との意見。また、参加者全員が小中一貫教育案に納得しなかった状況を示しました。区議は、こうした意見についての区教育委員会の

受け止めについて質問しました。次に、区議は37年前、旧文部省が出した「学校統廃合を考える3つの原則」を示し、区教育委員会の見解を求めました。この原則では、地域住民の理解と協力を得ること、小規模校として在置し、充実させる方が望ましい場合があるなどとしています。また、区議は区の二案だけで、さまざまな選択肢がないのはなぜか質問しました。次に、区議は9年間の小中一貫教育についての理由を問いたたしました。

さらには、義務教育費国庫負担制度の改廃の動きや「習熟度別学習」による競争教育の動き、財界からの小中一貫教育の要請の動きなどを示し、区の見解を求めました。また、区内で実施されている新泉小、和泉小、和泉中の一貫教育が必ずしも成功していない事例

や三鷹市でのモデル校についてのアンケート結果をしめし、十分な検証をすることを区に求めました。そして、様々な問題点をかかえる小中一貫教育にたいして反対し、警鐘を鳴らしました。

区答弁の趣旨

小中一貫教育は、区が9年間責任を持って、人間形成をすすめるもの。杉三小での説明会では、初めて説明を聞いた方が多かったため、質問が多かった。今後、ご理解を得ていきたい。高円寺地域は児童数が少なく、すべての学校を残すことは考えていない。

小中一貫教育を9年間実施した実績がなく、検証はこれから。他地区のアンケートは任意団体がおこなったもの。・・など答弁。住民の意見を尊重しているとは思えない答弁でした。

小中一貫教育の一般質問

杉八小での説明会に参加

杉八小学校で行われた高円寺の小中一貫教育案の意見交換会に参加してきました。雨が降るなか約25名が参加。区教委は「学校選択制については、来年1年をかけて見直しをする。そのさい廃止も含めて検討する」と説明。

参加した父母から「杉八小は児童一人ひとりに行き届いた教育を行えるとして杉八小学校を選ぶ理由のひとつにもなっている」「杉八小の児童数の少なさは根も葉もない風評が原因だが、それを学校再編の理由にしないほしい」「子どもに心配をかけたくない」と切実な訴えがありました。また、「再編成の区側の説明が不足している」

「小中一貫の教育理念は理解できるが、その教育理念を実現するのに小中一貫である必要性が見当たらない」「子供のためと連呼しているが、子供の視点に立って考えているのか疑問を感じる」

「今までの意見交換会の議事録や、学校適正規模を定めた時の経過がわかる資料を事前に提供するのが当たり前では？」など、多くの意見が出されました。やはり、参加されたほとんどの方が、現在、杉並区が進めようとしている「新しい学校」について、大きな不安を抱いているようでした。

小学校の通学区域で分ける案(案1)

